

<b>授業科目</b>  <b>課題研究</b>  <b>(CNSコース)</b>	<b>科目概要・形式</b>  2単位60時間(30コマ) <b>演習科目</b>	<b>配当年次</b>  <b>博士前期2年次</b> <b>通年開講</b>	<b>オンライン参加</b>  <input checked="" type="checkbox"/> ・不可 「下記6, 7参照」
<b>専攻領域名</b>	<b>がん看護学専攻</b>	<b>感染看護学専攻</b>	<b>老年看護学専攻</b>
<b>科目責任者</b>	<b>鳴井 ひろみ</b>	<b>新改 法子</b>	<b>出貝 裕子</b>
<b>1. 科目のねらい・目標</b>  専攻する領域に関する研究課題を設定し、学生が研究計画の立案、研究プロセスの実践を通して課題研究論文を作成する。			
<b>2. 授業計画・内容</b>  課題研究論文の作成等に関する指導は、指導教員を中心に行う。指導教員は、研究課題の設定から研究計画書の作成、データ収集、論文作成と発表に至る全過程を直接指導する。 1回～3回：研究テーマの設定      ・自らの臨床経験や専攻する領域の看護専門科目の学習を通して捉えた、看護学実践における臨床疑問を研究課題に絞り込む。 4回～6回：研究計画書の作成①      ・研究テーマに関連する先行研究を批判的に読み、解決すべき研究テーマと研究目的を設定する。研究目的に適した研究デザインを検討する。 7回～9回：研究計画書の作成②      ・研究目的、研究デザインに応じたデータ収集、データ分析方法を選択する。 10回～12回：研究計画書の作成③      ・計画した研究を実施する際の倫理的配慮について検討する。研究計画書審査・研究倫理審査を受ける。 13回～20回：データ収集・分析      ・研究計画書に基づいてデータを収集し、分析する。中間発表会において、参加者からの質問・意見に応える。 21回～26回：研究論文の作成      ・得られた結果を考察し、本学の論文作成様式に則り研究論文を作成する。 27回～28回：論文の口頭発表・審査      ・研究発表会において口頭発表を行い、参加者からの質問・意見に応える。提出した論文の論文審査を受ける。 29回～30回：論文の修正・提出      ・審査委員からの指摘事項について検討・修正し、論文を完成させる。  主なスケジュールは以下のとおりであり、詳細については決定次第、ガイダンス等で都度通知する。 (1) 研究計画書審査                      (①1年次2月～3月、②2年次5月～6月) (2) 倫理審査                              (研究計画書審査後) (3) 修士論文・課題研究論文中間発表会      (①2年次4月下旬、②2年次10月中旬) (4) 最終試験(口頭試問)                  (2年次1月下旬～2月上旬) (5) 修士論文・課題研究論文公開審査会      (2年次2月上旬) ※ ①：2月研究開始、②：5月研究開始			
<b>3. 教科書、参考書</b>  <教科書> 随時、推薦する。			

4. 成績評価方法

学位論文、最終試験（口頭試問）及び公開審査会において、総合的に評価する。  
審査基準等の詳細については、大学院便覧・授業要項に示す。

5. 受講要件

CNS（専門看護師）コースの学生は必修

6. 社会人学生に対する配慮

オンライン授業等は相談があれば個別に対応する。オンライン授業の場合はリモートでの同時双方向型授業を行う。

7. その他

大学院便覧に記載する「論文申請要領（博士前期課程）」を熟読しておくこと。  
状況に応じてWebex meeting またはZoom を用いた遠隔講義を実施する。  
オンデマンドの実施不可